

ボランティアの育成・支援

※本事業は、主催事業「うしずていキャンプ」の事前研修として実施しました。

〈令和5年9月2日(土)〉

【目的】

主催事業の事前研修を通じて、ボランティアスタッフがプログラムの流れや指導のポイントを学習し、主催事業当日、円滑に子ども（参加者）のサポートが行えるようになることを目的として実施する。

【対象】

主催事業に参加するボランティアスタッフ

【参加者】

参加者4人

【プログラム内容】

9:10	アイスブレイク	14:00	火おこし体験
10:20	危険予知トレーニング	14:30	炭の置物・めだまっち作り
11:00	ねじりパン焼き体験	15:00	ふりかえり



「アイスブレイク」



最初に、コミュニケーションツール「シャベリカ」を使って「YESコミュニケーション」と「傾聴」の練習をしました。次に、異文化理解体験ゲーム「バーンガ」で、言葉が通じない相手と協働して課題に取り組む体験をしました。最後に、レクリエーションを通じたチームビルディングの手法について学びました。

「危険予知トレーニング (KYT)」



安全を確保するための「危険・予知」、「回避・コントロール」、「対策」の3つについて確認し、イラストを使った「KYT」を行いました。イラストを見ながら、どういった危険要因が潜んでいるのかを洗い出すトレーニングを行うことで、危険を予知する練習を行いました。

「ねじりパン焼き体験」



小麦粉からパン生地を作り、木の棒に巻き付けて炭火でじっくり焼き、パンを作りました。実際に体験してみて、難しかった点や子どもたちに指導する際の留意点などを確認しました。

「火おこし体験」



摩擦熱を利用した火おこしを行いました。火のおこし方や子どもたちへのコーチングの仕方を学びました。

「炭の置物・めだまっち作り」



フィールドで採集した葉っぱ・花・枝・石を使って、「炭の置物」と「めだまっち」を作りました。自然の素材をもとに、想像力を働かせ作品を作りました。参加者が一番夢中になったプログラムでした。

「ふりかえり」



「しるらないカード」を利用した、ふりかえりの方法を学びました。